

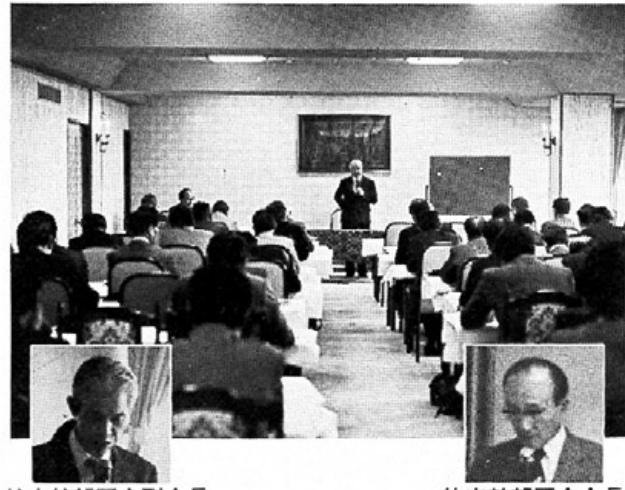
発行所  
医療法人財団五省会西能病院  
〒930 富山市五福1130  
TEL (0764) 41-2481(代)  
発行人 西能 正一郎

# 五省会ニュース

- 五省**
- 一 至誠に悔るなかりしか
  - 一言行に恥るなかりしか
  - 一 氣力に救るなかりしか
  - 一 努力に憾みなかりしか
  - 一 不精に責らなかりしか

## 連携を密にして医療の発展向上を

### 氷見市で 日本病院会の病院幹部医セミナー



鈴木幹部医会副会長 (左) 笹森幹部医会会長 (右)

日本病院会(会長・諸橋芳夫氏)の移動常任理事会と「病院幹部医セミナー」(写真)は、十月二十六、二十七日の両日にわたり、氷見市の誉一山荘で開かれた。全国の公立、大学、私的病院から病院長、副院長、幹部医師はじめ大学の教授、講師らや六十人が参加、シンポジウムなどで研鑽を図った。この日も連携を密にして、わが国医療制度の向上発展に寄与することを申し合わせた。

### シンポジウムで切磋琢磨 努力と根性で立派な病院を

初日は病院幹部医会会、(写真)は、十月二十六、二十七日の両日にわたり、氷見市の誉一山荘で開かれた。全国の公立、大学、私的病院から病院長、副院長、幹部医師はじめ大学の教授、講師らや六十人が参加、シンポジウムなどで研鑽を図った。この日も連携を密にして、わが国医療制度の向上発展に寄与することを申し合わせた。

会常任理事西能正一郎氏(西能病院院長)を座長に「病院長と病院勤務医の連携」。

二日目は、同医会副会長、牧野永城氏(聖路加国際病院副院長)と、同医会常任幹事、三宅浩之氏(関東通信病院部長)との対談「米国の医療情勢」。

シンポジウムは、同医会常任幹事、小野丞二氏(東邦大学大森病院講師)を座長に「パート医師はどうかわるか」。

病院幹部医会副会長、鈴木覚義氏(北品川総合病院院長補佐)が「西能先生にお世話になりました」と閉会の挨拶。最後は西能同会常任理事が「努力と根性で立派な病院をつくってほしい」と述べた。富山の担当者として厚くお礼申し上げます」と挨拶した。(四面に講演要旨)

### アンペラに正座して

西能 正一郎

富山県護国神社の例大祭は、毎年、春は四月二十五日に、秋は十月二十五日に斎行されます。敗戦の年に海軍兵学校の生徒となり、軍籍の最後尾に名を連ねた私は、何か因縁があるように思われ、誘われるままに、

### 息子や夫の姿を呼び戻す 長い苦労を深く刻み込んだ善人の顔

死んで行った息子のために、母親なら恐らく用意したであろうと思われる山海の食物が供えられ、煙草や、大福餅にほのぼのとした暖かさを感じ、父親に代る、宣司のなげくような、むせぶような祝詞奏上があつて、祭礼は最高潮に達します。

やがて、神祭や、詩吟の奉納も終り、一同退下するときは、天幕の中はやっと緊張がゆるみ、ざわめきがひろがって、参列者一同は肩の荷が降りたような気持ちになるのであります。天幕の中を見ても、

死んで行った息子のために、母親なら恐らく用意したであろうと思われる山海の食物が供えられ、煙草や、大福餅にほのぼのとした暖かさを感じ、父親に代る、宣司のなげくような、むせぶような祝詞奏上があつて、祭礼は最高潮に達します。

やがて、神祭や、詩吟の奉納も終り、一同退下するときは、天幕の中はやっと緊張がゆるみ、ざわめきがひろがって、参列者一同は肩の荷が降りたような気持ちになるのであります。天幕の中を見ても、

死んで行った息子のために、母親なら恐らく用意したであろうと思われる山海の食物が供えられ、煙草や、大福餅にほのぼのとした暖かさを感じ、父親に代る、宣司のなげくような、むせぶような祝詞奏上があつて、祭礼は最高潮に達します。

やがて、神祭や、詩吟の奉納も終り、一同退下するときは、天幕の中はやっと緊張がゆるみ、ざわめきがひろがって、参列者一同は肩の荷が降りたような気持ちになるのであります。天幕の中を見ても、

## あすなろ

三年ほど前のこと。アメリカのアラバマ州のテレビ局に、ある失業者から電話がかかってきた。焼身自殺するから取材してくれという。レポーターとカメラマンが駆けつけた。その失業者は、一問一答に答えていたが、突然、ガソリンを頭から浴びマツチで点火した。その間三十秒。あつという間のことだが、カメラで一部始終を写したあと、救急車に連絡したが無間に合わず失業者は死亡した。これが放映される。当然「なぜ止めなかつたか」という取材者への非難が集中した。興味ばかりが先行し生命すら見失って何が報道か、と思うのだが、日本でもよく似た誤りを堂々と犯している。例の永野会長刺殺事件である。しかし一部マスコミは、その無神経さへの非難に知らぬ顔をしてさらに「やらせ集団リンチ事件」へとエスカレートした。さすがにテレビ局は頭をさげておびたが、局内では「一ディレクターの心ない行動がテレビの信用をなくした」という声があつたという。とんでもない話である。

## 医療福祉制度の手びき

### 重度障害者の在宅療養保障

D 身体障害者福祉法(身体障害者手帳)の活用

退院後に身体障害者福祉法にもとづくいろいろな援助をうけるには、入院中から身体障害者手帳を申請しておくことが必要です。

身体障害者福祉法の援助とは、補装具の交付、車椅子や歩行車など、日常生活用具の給付及び貸与、浴そう、便器、特殊寝台など、住宅改善費の助成や住宅整備資金の貸付など、身体障害者の自立を援助するような制度です。又、市町村によっては、独自の制度もあるため、身体障害者手帳を市町村役場で行く場合、具体的にどのような制度があるのかを知っておくことも必要です。

E まとめ

以上、いろいろな制度を紹介しましたが、実際に在宅療養を行なうにあたっては、心配や不安でいっぱいであろうと思われる。退院を「お荷物」のように考えるのではなく、「新しい生活」への出発点としてなんとか頑張ってもらいたいのです。

それには、対象者自身が介護人によりかかる受け身の生活を、身近なことから主体的にかかわる生活へと変えていかなければなりません。対象者の能力にもよりますが、病院で獲得した身辺処理の方法は、家庭にかえっても自分で行なうようになります。又、車椅子を利用してベッドの上から廊下へ、廊下から戸外へと生活の枠をできるだけ広げるようにします。親しかった友人や、近所の人にも訪問してもらうようにしたり、同じような障害者の仲間との接触も対象者にとって、世間の情報をえたり、生きる実感をもつうえで必要なことです。

我々病院職員や行政も、対象者や介護人が問題を自分たちで抱えこんで社会から孤立しないように、見守る必要があります。そのためにはどんなことでも気軽に相談してもらえよう行政や病院の体制づくりが必要になってきます。重度障害者の在宅療養保障 おわり

(医療ソーシャルワーカー)  
高村美和子





# 病院幹部医セミナー

10月26日・27日  
氷見・誉一山荘

## 選ばれる病院づくりを

### 諸橋日本病院会会長講演から



諸橋 会長

日進月歩の医学の中で立派な医療を行なう条件

は、つねに医療の質の向上を図る、医の倫理を守る、経営の健全化、連携の強化などであり、医療は自分一人できないうことをいつも心掛けていてほしい。患者さんが病院を選ぶ

☆☆☆☆☆☆☆☆

## 美しいものが 見えてきた

松下 英勝

☆☆☆☆☆☆☆☆

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「人の心の判る人生は尊く美しいのですが、決して人の心に頼らざるべからぬ」と。この言葉は忘れられません。「美しいものが見えてきた」は、院長のお言葉から生まれたもので

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

患者からみたよい病院とは、患者と医療担当者との人間関係が良好である、病院が常に清潔で、よい環境づくりがなされている、職員が笑顔で親切であることなどである。人のためにやれば、自分のためにも回ってくるという気持ちが大切である。病院経営上の諸問題としては、放漫経営と内輪もめは住民の信頼を失う。まじめにやっつけても苦しい状況もある。公共性だけでなく、経済性など

近かな人々から悪業の都度、「いつも結果は汚れた行為ばかりでお先真つ暗で、美しいものが何も見えない」「院長に甘えていられるのでは」と、色々な言葉を耳にして情けない思いをしました。しかし、多くの人たちの親切、思いやり、そして

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

「五省会ニュース」の第30号には今迄と違った重みを感じました。「五省会ニュース」に掲載させて頂いたのは確か昭和五十五年九月からだったと思います。この年の四月に西能病院を退院し、津山市の「みすず荘」に入荘、馴れぬ施設暮らしに心細い思いのこ

諸情勢を考えてやってほしい。世は激しい競争時代である。病院も同じだ。サボってはいけません。入るを量りて出さずを制す。で費用を削減するなどして、経営努力を推進してほしい。



メモを取りながら熱心に耳を傾ける幹部医諸氏

### シンポジウム 病院長と病院勤務医の連携



院長・西龍正一郎 日本病院会常任理事

### 討議を要する問題

この問題は地域や、病院の生い立ちによって違うことがわかり、今後も討議しなければならぬ。

### 「心の友」の ドクターを

腹をわけて語り合える心のふれあい大切だ。若い医師のバイタリティーを上手に活かしてほしい。

### 院長に三つの顔

院長には病院と医師と経営者の三つの顔がある。あまり経営に熱心すぎると医師にきらわれる。

### 相互の理解を深く

院長と勤務医の卒直な話し合いが大切だ。そして相互の理解、信頼をもつと深くすべきだ。

### 年令の断層が悩み

私の病院では五十台の勤務医が六割を占めており、若い医師との年令の断層という悩みがある。

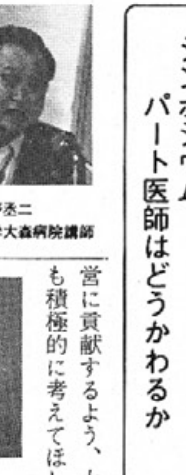
### 心に響く リーダーシップ

「大入袋」を出したら若い医師から反応があった。心にひびくようなりリーダーシップが大切だ。

### 老人は薬の貰いすぎ

老人が薬を沢山もらって苦勞している、医師はもうけすぎているのマスコミの煽りは日本と同じ。

### シンポジウム パート医師はどうかかわるか



院長・小野丞二 東邦大学大森病院講師

営に貢献するよう、大学も積極的に考えてほしい。

### 解釈をはっきりと

パート医は伸びる。その解釈をはっきりさせて社会的な報しゅうを受けける制度を設けるべきだ。

### 大いに活用すべきだ

当病院は常勤医五十人、嘱託医八人、パート医六人でやっている。パート医は大いに活用すべきだ。

### 満足できない 使命感

パート医は使命感を満足させてもらえないというので、なかなか踏み切れない点があるようだ。

### パート医は 病院に貢献

パート医はさらに必要になってくる。病院の運

### パート医は 病院に貢献

パート医はさらに必要になってくる。病院の運



→ 氷見の名産品をおみやげに  
さわやかな朝(27日)、ロビーでは談笑の花が咲く